



みんな げんきかな？

ごはんは たくさんたべてるかな？

いっぱい あそんでる？

まいにち、たくさんわらってる？

かぜはなおったかな？
おひるごはんはいっぱい
食べられたかな？
など、生活に合わせてア
レンジも



みんなのおともだちは どうかかな？
めいちゃんも はるくんも
りんちゃんも ゆうくんも
げんきで えがおだったら いいよね

お話を聞いている子どもたちのお名前を入れてみてください



あったことはないけれど

せかいじゅうにいる

たくさんのおともだちも

げんきでえがおでいるかなあ？

もしも そのなかに

こまっている おともだちがいたら？

ないている おともだちがいたら？

みんなが住んでいる日本のほかに、世界にはたくさんのお国があるんだよ。ほかの国にもみんなと同じような子どもたちがたくさんいるんだよ。



たのしく くらせない おともだちが いたら
きみはどうする？

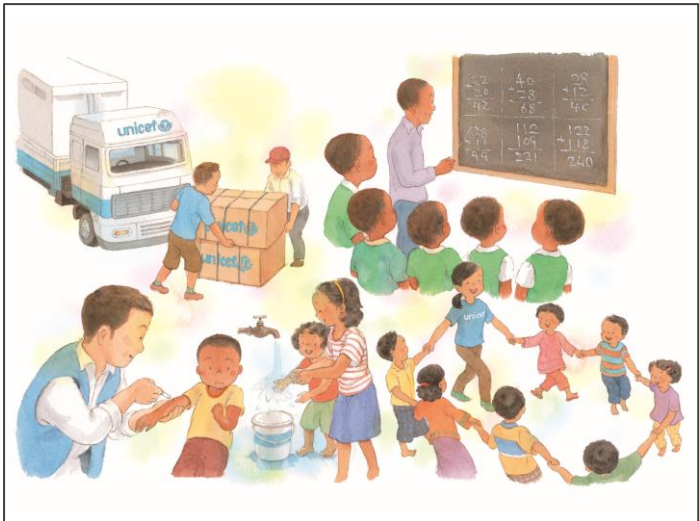
「どうしたの？ってきいて

たすけてあげる！

はげましてあげる！」

うん そうだね！

みんなはどうしたい？



そのこまっっている

せかいじゅうのおともだちを

たすけたり はげましたりしているのが

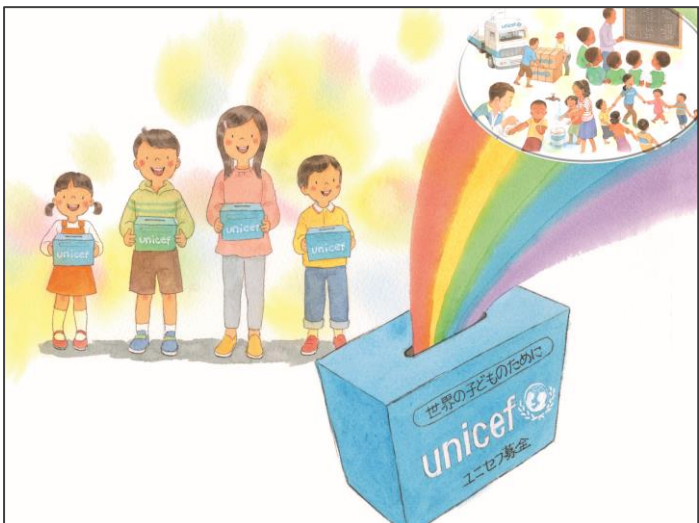
ユニセフ だよ

これは何をしているところかな？
おべんきようしたり、あそんだりしているね。
きれいなお水があったり、予防接種の注射をしていたり。
どうかな、子どもたちにこういうことは、たいせつかな？

【補足】

絵には、ユニセフのさまざまな活動のようすが描かれている。
左上から時計回りに

- ① 支援物資を届けているユニセフスタッフ
- ② 学校で学ぶ子どもたち（教育支援）
- ③ ユニセフのスタッフと遊ぶ子どもたち（災害時の子どもにやさしいスペース）
- ④ 水道から安全な水をくむ子どもたち
- ⑤ 予防接種を受ける子ども



ユニセフは、たくさんのひとからおくられた

ぼきんっていうおかねで

おともだちをたすけるための

しごとをしている

だからみんなからのぼきんが

とってもだいじなんだ

みんなのぼきんは

せかいじゅうのおともだちのところへ

とどけられる

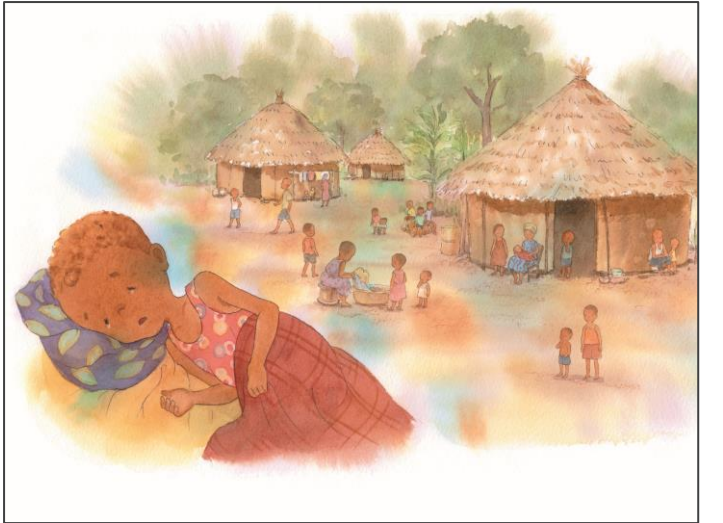
どんなところに どういうふう

とどいているか

みにいってみよう

ぼきんって聞いたことあるかな？
お金？ 何のためのお金だろう？

そう、こまっていたり、助けが必要になったりしている人や子どもなどのために集めるお金のことだね。



【アデュちゃん はじまり】

アデュちゃんは2さい

あら、どうしたのかな？

なっているこえがとてもちいさいね

たちあがることもできないみたい

おなががすいているのかな？

【補足】
アフリカ・南スーダンの子ども。

南スーダンでは、紛争に加え、気候変動による洪水や干ばつなどの影響も深刻で、厳しい食糧危機が続いている。



うでもこんなにはそくなって・・・

アデユちゃんはマラリアというびょうきに

かかっちゃったらしい

アデユちゃんのおうで、とっても細いよ。
ペットボトルのふたと同じくらいの太さしかないんだよ。
とってもやせてるってことだね。

【補足】
子どもの栄養不良を簡易に診断するため、上腕計測メジャーで、二の腕の太さを測っている。※絵本の巻末に実物大のメジャーを掲載。どれくらいの太さか実演すると分かりやすい。

このときのアデユちゃんの腕の細さは約10センチ。

メジャーの窓から見える色によって診断。赤色は、命にかかわる危険な状態で緊急の治療を要することを意味する。

衛生状況が悪い地域が多く、特に栄養不良の子どもは、マラリアや呼吸器系疾患、下痢疾患などにもかかりやすい。また、病状が悪化しやすく、命が奪われる危険も高い。



アデュちゃんのくには

たべものがみんなにとどかないから

ごはんをもらえないこがいるんだって

アデュちゃんも、たべものがとどかなくて、ごはんが足りなかったんだ。それに病気にもかかった。それにおなかがつてもすいていくのに、ごはんがとどかなかったら、どうだろう？



はるくんがくれた

100えんのぼきんが

3ふくろのえいようちりょうしよくになつた

栄養治療食というのは、ごはんや栄養が足りていないおともだちに、体に必要なたたべものことだよ

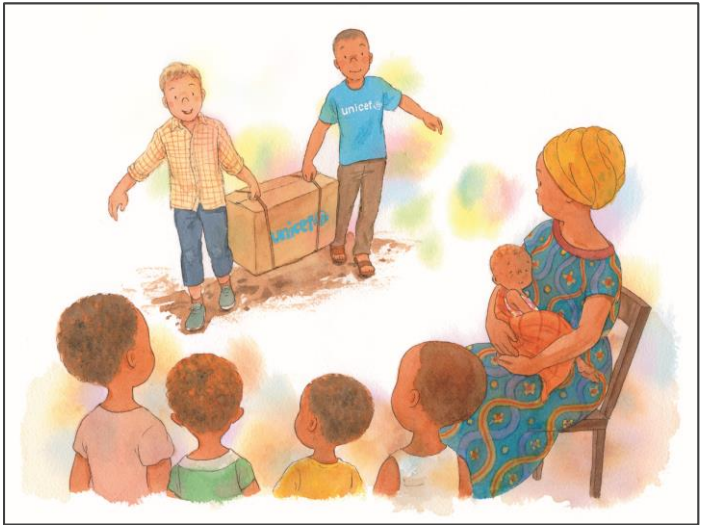
【補足】

ここでの例は、2020年時点の価格および為替レートで計算した数値。

2024年2月時点で、世界的な食糧価格の高騰などにより、栄養治療食の価格は10袋で585円（1袋約59円）となっている。

（気になる場合は、「3ふくろの」を割愛してお話ください）

※栄養治療食の詳細については13を参照



アデユちゃんのところにも
ユニセフが
とどけたよ

(次のページに、アデユちゃんが栄養治療食でだんだんと
元気になるようすが描かれる。そのようすが分かるように、
少しゆっくと抜く)

アデユちゃんが、治療を受けている病院に、ユニセフが届けたんだって。お医者さんが、アデユちゃんを診察して、栄養治療食を食べられるようにしたよ。

アデユちゃん
栄養治療食を食べたら
どうなったかな？



えいようちりょうしょくには

げんきになる

ミラクルパワーが

いっぱい つまっている

まいにち たべて アデユちゃんに

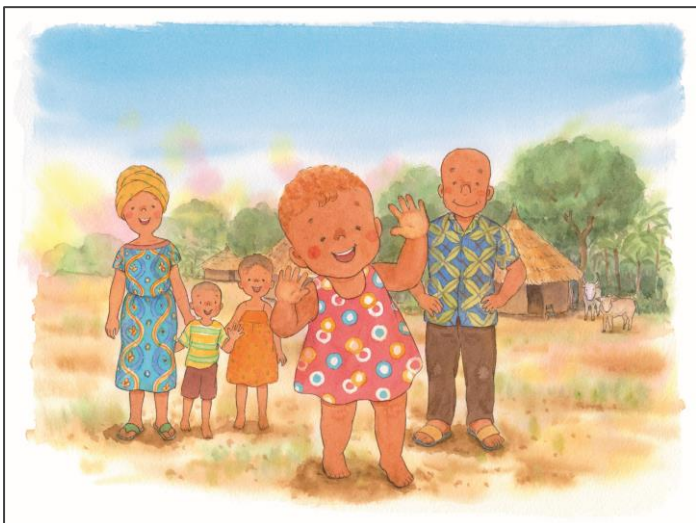
げんきがもどった

あるくことも できるようになった

【補足】

栄養治療食は、ピーナッツバターのようなペースト状になっており、水に溶いたり、加熱したりする必要がなく、封を切ってそのまま食べられる。

1袋で500キロカロリーのエネルギーをとれるほか、回復に必要な多くの栄養素が含まれる。治療食のため、医師の診察のもと提供され、感染症の予防などと並行して使用される。（提供時にアレルギーなども確認）



おとうさんも おかあさんも
ひとあんしん

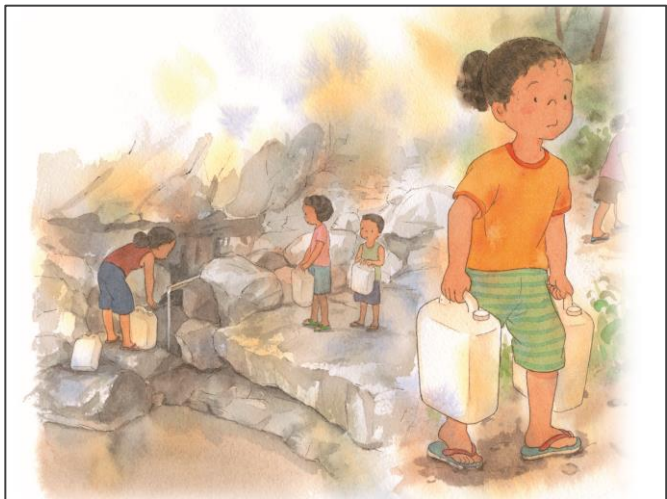


「おおきくなったら そうりだいじんになって
なれるぞ!」

と おとうさん

あ、えがお!

【アデュちゃん おわり】



【ディアナちゃん はじまり】

ディアナちゃんのおうちには

まだ すいどうがない

だから まいにち

やまのむこうまで

みずを くみにいくんだ

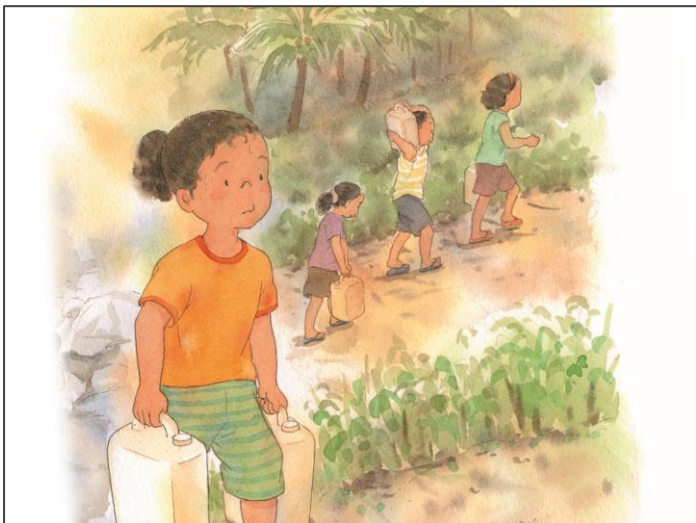
わきみずが たまっているところで

みずをくむ

(次の場面 (くんだ水を運んでいくようす) につなげるように
少しゆっくと左へ抜く)

【補足】

東ティモールの女の子。
東ティモールは東南アジアの国。インドネシアの南東端のティモール島の東半分¹に位置する。2002年にインドネシアから独立した若い小さな国。
戦乱が続いたことにより開発が遅れ、電気や水道などのインフラの整備もまだ行き届いていない



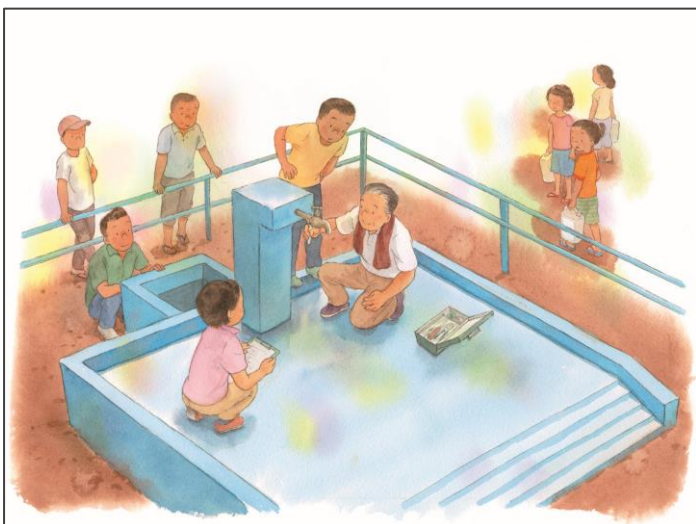
つかれたなあ、とおもっても、
みずがないと こまるから
がんばって みんなで くみにいく

両手にポリタンクを持って
いて重そうだね。
みんなだったらどれくらい
運べそう？



くんできたみずは
ちやいろくにござって
ちよつとつちのあじがする
おなかをこわさないかなあ
としんぱいだけど
ほかにみずがないから
しかたがないんだ

みんなが飲んでいる水はど
んな色かな？
もし、川でくんできた水を
飲まなければならなかった
ら、どうだろう？



ディアナちゃんのむらでは

ユニセフが

むらのひとたちと

すいどうをつくりはじめた！

「すいどうが できたら

いつでも みずがくめるんだって！」

日本みたいに、みんなのおうちですぐに水道を作ることはできないから、村の人たちが一緒に使える水道を作るんだね。



「すいどうができたなら なにしたい?」

「みずあびしたい!」

「おさらを きれいにあらいたい!」

「ようふくを せんたくしたい!」

まいにち みずくみで ぐたくたの

おともだちも とっても たのしみになっている

みんなは、お水をどんなと
きに使っている?
(飲むだけじゃないんだ。
いろんなときに水って必要
なんだね)



すいどうができた！

とおくまでいなくても

ここに みずがあるんだ

みずは とうめいで とってもきれい

せんたくしたり からだをあらったり

きもちいい！

のんだみずで びょうきになることも ない

みずをつかって はたけができた

おいしそうな あおあおしたやさいが

たくさんそだった



おうちで はなを そだてるのが

ゆめだった ディアナちゃん

ほら、おうちのまわりが

きれいなはなで いっぱいになっているよ！

あ、えがお！

【ディアナちゃん おわり】



【モンズールくん はじまり】

モンズールくんが くらしていたむらは
ある日 とつぜん おそわれた
じゅうで ひとが うたれて
ばくだんも おちてきた
いえは もやされてしまった
いもうとも しんでしまった
ここにいたら、ぼくも しぬんじゃないか・・

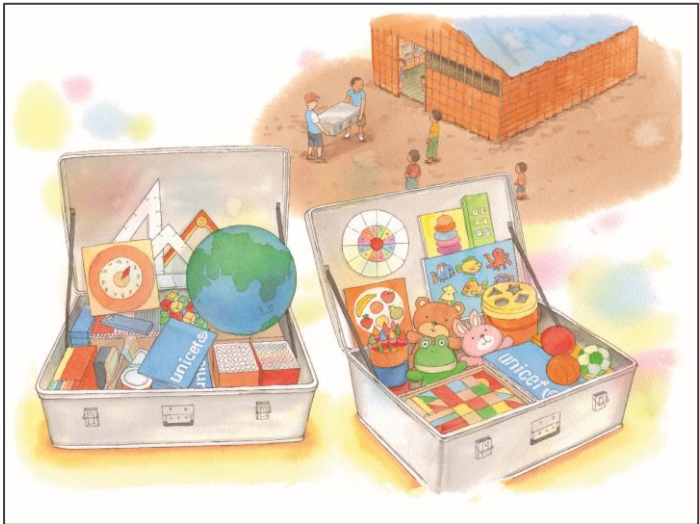
【補足】

ミャンマーで暮らしていた少数民族ロヒンギヤの男の子。村が攻撃を受け、となりの国、バングラデシュに逃れ、いまは、難民キャンプで暮らしている。絵は後から説明されるが、モンズールくんの描いた絵がもとになっている。彼の経験したことが絵からうかがえる。

2017年の夏にミャンマーで暴力が激化、大量の難民が生まれた。その危機以前から避難していたロヒンギヤ難民も含め、今も約50万人の子どもを含む約96万人が人道支援を必要としている。



こわくて こわくて しかたがない
でも ゆうきをふりしぼって
やっとのことで にげだしたんだ
なんにちも なんにちも
ごはんもたべずに あるきつづけて
ようやく となりのくにまで にげられた



モンズールくんのように
せんそうからにげてきた おともだちが
たくさんあつまっている ところがある

そこにユニセフから
がっこうセットと
ようちえんセットのはこが とどいた！

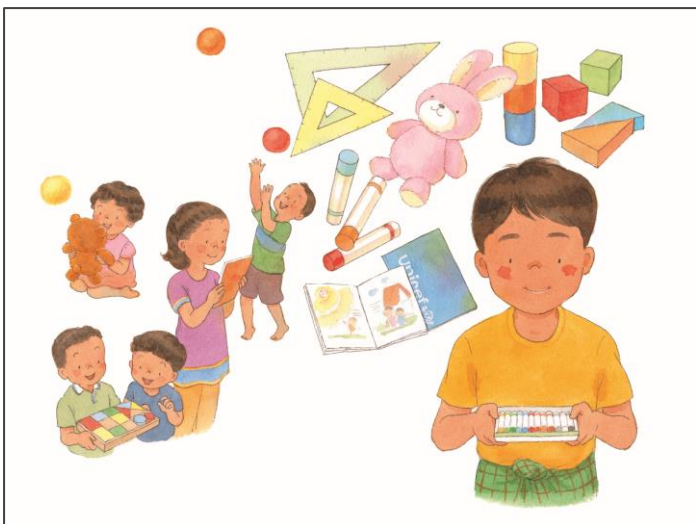
中になにが入っていると思
う？

【補足】

ユニセフの緊急支援用の支援物資。

緊急事態下でも子どもたちが教育を受けたり、リクリエーションを楽しめるように、それぞれ、教材や学用品、おもちゃなどがセットされている。これが届けば、難民キャンプのような場所でも、教室を開いたり、「子どもにやさしいスペース」を設けたりすることができる。

(参考) 学校セット…「箱の中の学校」40人の子ども用の学用品と先生用の教材や道具入り ーセット 20968円(2024年2月時点)



「うわあ みてみて！」

「いろいろなものが たくさんはいつている！」

おもちゃも えほんも だいすきだったものを

ぜんぶ なくしちゃった おともだちは

みんな おおごえをあげて よろこんだ

モンズールくんは

もらった クレヨンで えを かきだした

こころのなかに いっぱいあった

こわかった おもいでを

ぜんぶ えに かいた



はこのまわりに

こどもたちの ばしよが できた

みんなで うたをうたったり

おどったり あそんだりできる

おおきいこは べんきょうも できる



モンズールくんも えを かきつづけている
こわかった おもいでを たくさん かいたら
こわいきもちが すこしなくなってきた

こんどは とりや きや
どうぶつたちがいる
まえにくらしていた むらのようすを
かいている

あ、えがお!

【モンズールくん おわり】

【補足】
紛争など精神的にも厳しい状況に直面した子どもたちの心理社会的ケアの一環として、
絵を描く活動がよく取り入れられている。
最初のうち、戦闘のようすや、被害を受けている人びとのようすなど厳しい経験や暗い
心のうちを描いていた子どもたちが、描き続けるにつれ、次第に、希望や願いを表す絵
を描くように変わっていくようすが多く見られる。モンズールくんもそんな一人。

モンズールくんがこの絵を
描いたとき、どんな気持ち
だったんだろう？



せかいじゅうのおともだちが
えがおになるといいよね

【おわり】

みんなは、どう思う？

登場する子どもたち（絵本の最終ページに掲載）

●アデュちゃんは、南スーダンの2歳の女の子です。

南スーダンでは紛争が続き、多くの国内避難民や難民が生まれています。食料が行きわたらず、多くの子どもたちが深刻な栄養不良に陥っており、ユニセフは緊急支援活動を続けています。



治療を受けて8週目
ユニセフのスタッフに笑顔を見せるほど回復したアデュちゃん
©UNICEF/UN0344939/Wilson

アデュちゃんのような映像で紹介しています。

<https://youtu.be/emPVc0U2oqE>

（「令和2年度ユニセフ活動の手引き」付属DVDに収録）



栄養不良の簡易診断には、上腕計測メジャー（下図）が用いられます。上腕に巻き、切込みに差し込んで、窓から見える色で診断します。赤色は、緊急の栄養治療が必要な深刻な状況と診断されます。アデュちゃんが運び込まれたときの

腕の太さは10.5cmほどしかありませんでした。治療に使われる栄養治療食はペースト状になっており、1袋で500キロカロリーのエネルギーと必要な栄養素を補うことができます。

●ディアナちゃんは、東ティモールで暮らす女の子です。

2002年にインドネシアから独立したこの若い小さな国は、戦乱が長く続いたことで開発が遅れ、今でも電気や水道などのインフラの整備が行き届いていません。多くの子どもたちが日常的に水くみの仕事を担っています。



ディアナちゃん（仮名）

東ティモールでユニセフの安全な水を提供するプロジェクトを、福井県大野市が支援しています。ディアナちゃんはその支援を受けた村で暮らしています。



写真（上、下とも）大野市提供

大野市の取り組み

Carrying Water Projectのサイト：

<http://www.carrying-water-project.jp/>



●モンズールくんは、ミャンマーで暮らしていた少数民族ロヒンギャの男の子です。

村が攻撃を受け、隣国のバングラデシュへ逃れ、今は難民キャンプで暮らしています。この危機により緊急の人道支援を必要とするロヒンギャの人びとは子どもだけでも68万人にものぼっています。（2020年2月現在）



モンズールくん ©UNICEF



難民キャンプでユニセフは、学習センターや子どもにやさしい空間を設け、学用品や遊具などを支援しています。モンズールくんも支援センターで、心のケアの一環として絵を描きはじめました。最初のころの絵には、凄惨な攻撃の状況が生々しく描かれました。描き続けるうちに、心境に変化が生まれ、描く内容も少しずつ変わっていきました。

モンズールくんが最初の頃に描いていた絵（上）と半年後に描いた絵（下）

©UNICEF

モンズールくんが描く絵がどのように変わっていったのか、映像で紹介しています。

<https://youtu.be/GxZfwdWifU>





ユニセフとえがおのひみつ

おはなし 日本ユニセフ協会
え 栗原淳子（くりはら じゅんこ）

この欄で、各ページでの
声かけ・問いかけのヒント
などをお伝えしています。